

みよし市制施行直前 新春特集

町長・新成人とのふれあい座談会

わたしたちの「みよし」 今、これから

平成21年12月8日から久野知英町長の3期目の任期が始まりました。これまでの2期8年間「心の通う対話とガラス張りの町政」を目指し、町民の皆さんのご意見やご提言を積極的に聴きながら町政を進めてきました。

三好町は平成22年1月4日、市制施行により「みよし市」として新たな歴史の幕を開きます。市制施行を記念して、将来のみよし市を担う若い世代の皆さんの意見をお聴きしようとして「町長・新成人とのふれあい座談会」を平成21年12月1日、三好町役場で行いました。平成22年1月10日のみよし市となって初の成人式を迎える新成人の皆さんを代表して、自ら成人式の企画運営を行う成人式実行委員のうち10人の皆さんが、若い世代の視点から、わがまち「みよし」に対する意見や考えを久野町長と直接意見交換。今回の特集では、この座談会の様子ををご紹介します。





▶和やかな雰囲気の中、新成人の皆さんからのご意見一つ一つに丁寧に答えていました。

町長 今回、この会に出席していただいたのは、全員学生の皆さんです。皆さんには学生としての本分をまっとうしていただき、立派な社会人となられるよう願っています。

三好町は、平成22年1月4日から「みよし市」となりますが、財政状況が最も厳しい状況下で市として出発することになります。若い世代の皆さんが「みよし」について考えていることを、どんなことでも構いませんので、率直なご意見をお聴きしたいと思います。



しむらあやか
志村 絢香さん(三好丘緑)
しゆくたく
愛知淑徳大学教育学科在学中

高齢者と小さな子どもが交流できる場所や機会が増えるといいな

志村 わたしには高齢の祖母がいて、長寿番付に掲載される人が新たに増えるたびに、仲間が増えた大変喜んでいきます。長寿番付に掲載の名前は毎年増えるにつれて「掲載される名前が年々小さくなって読むのが難しくなってきたね」と話しています。このように高齢化が進む三好町ですが、一方では隣の家にも1歳の子どもが住んでいて、祖母もその子と遊ぶのをいつも楽しみしています。こうした高齢者と小さな子どもが交流できる場所や機会がたくさんあるといいなと思います。

町長 小さな子どもを持つ親の皆さんは、家のすぐ近くに小さな子どもたちが遊べる公園があるとよいと考えると思いますが、すべての人の家の近くに公園があるわけではありません。三好町はほかの市町村に比べても公園が多いほうなのですが、今後もし小さな子どもたちが遊べる場所を確保していかなければならないと考えています。ただ、新



たむらかずき
田村 一樹さん(新屋)
あらや
名古屋大学工学部在学中

みよしの力ヌーの環境は素晴らしい

田村 わたしは力ヌー競技を通して成長させてもらったと思っています。三好町の力ヌーの関係施設や支援してもらえる環境がいかに素晴らしいかを実感しています。力ヌーを通して、いろいろな年代の人とつながりを持つことができよかったですと思います。わたしも後輩たちに自分の持っているものを伝えていきたいと考えています。これからも、力ヌーを続けて後輩を育てていきたいですし、いろいろな人に力ヌーを知ってもらいたいです。

町長 ぜひ、後輩を育ててほしいと思います。

たな公園用地を確保していくには多額の費用がかかりますので、既存のグラウンドや公園などの一画に芝生広場を整備するなどの工夫をして、小さな子どもたちや高齢者が集える場所を確保していきたい。わたしはマニフレストで子どもたちの遊び場を増やすことも盛り込んでいますので、今後とも努力していきたいと思っています。

す。カヌーはマイナーな競技かも知れませんが、オリンピックなど大きな大会に出場できるチャンスが多い競技です。三好町内の中学校ではカヌー部があつて活発に活動していますが、他市町の中学校にもなかなか強いところがあります。三好池で開催している中学生のカヌー大会では、ホームグラウンドなので町内の中学生の選手の皆さんには、町外の中学生に負けないよう、ぜひ頑張ってもらいたい。



みやざきなりみ
宮崎成美さん(三好下)
藤田保健衛生大学
医療科学部在学中

将来も住むならみよし市に

宮崎 わたしは、将来もみよし市に住み続けたいです。なぜなら、みよしは公共交通機関の便は悪いかもありませんが、車で30分も運転すれば豊田市にも名古屋市にも行くことができます。わたしが住んでいる地域では柿やナシを売っている直売所もあり、地元の特産物を手軽に買うことができます。適度に緑もあり、自然が豊かなところが入っています。

現在、わたしの住んでいる地域で、大規模に山が削られているようですが、あれは何をしている

のですか。

町長 もともとある果樹園をもっと使いやすいものにして生産性を向上させるための整備を現在行っています。

将来、結婚してもぜひみよし市に住んでください。三好町には、まだ農地が3分の1残っています。この農地をいかに残し、活用していくのが重要で、こうした自然豊かな三好の良さを残しながら都市化を進めていかなければならないと思います。



やまもとしょうた
山本翔太さん(三好丘旭)
名古屋大学工学部在学中

発展しつづける住宅地であつてほしい

山本 現在、三好丘旭に住んでいますが、この地域はどんどん家が建つていて、人口も増加し続けている住宅地だと思います。近隣の市町に住む友達が、昔は今の三好丘と同じような新興住宅地であつたのに、今では子どもの数がとても少なくなつてしまったという話を聞いたことがあります。三好にはそのような話になってほしくないです。

町長 大規模な住宅開発が行われる場合、開発区

域内の土地を100%買収して開発した住宅地などでよくみられる現象ですが、一度に全部の宅地を販売するので急激に人口が増加しますが、年月がたつと一気に高齢化が進み若年人口が減つてしまつたのです。一方、三好丘は当時の住宅都市整備公団が50%買収し、残りは地主が所有する形で進められたので、まだ一部の土地は家が建たずに残っています。一度に開発をするのではなく、時期を分散して開発したことで徐々に人口が増えて、高齢化による人口減は食い止められていると思います。ただ、三好にも高齢化の波が押し寄せており、多くの皆さんに住み続けたいと思つてもらえるような魅力あるまちづくりをしていかなければならないと思つています。



おた なみ
太田奈見さん(東山)
藤田保健衛生大学
看護学科在学中

地域とのつながりが強くあつてほしい

太田(奈) 現在、弥栄いやさかに住んでいますが、わたしが小学生のころから、子どもたちが地域の大人の人にあいさつができていて比較的地域のつながりが強かつたと思います。最近、昔に比べて地域と

のつながりが薄れてきたように思います。もっと地域と子どもたちや高齢者などのつながりが強く、活発になることで地域の防犯や防災につながると思います。

町長 三好も確実に高齢化が進んでいる中で、高齢者は地域の中で見守られて暮らすことが一番幸せであると思います。昔、三好町が村だった頃は、近くに住む人はほとんど知っているほど地域のつながりが強かった。その後、都市化が進んで行く過程でさまざまな所から人が転入してきて人口が増え、地域のつながりが薄れてきたという流れは自然な流れだったかも知れません。しかし、それではいけないと思います。今、地域に住んでいる人たちが顔見知りになるのが一番良いと思います。新しく引越してきた人でも向こう三軒両隣が知り合いになればみんながつながっていく。そうしていくことで地域のつながりが深まって、防犯にもつながっていくと思います。



もりゆき
森樹さん(三好下出身)
愛知教育大学
日本語教育コース在学中

学生ボランティアが外国人に日本語を教える教室があるといいな

森 わたしは、刈谷市で外国人に日本語をボラ

ンティアで教えています。三好町には1,800人ほどの外国人がいるのですが、比較的多いと思います。学生にとっても良い経験になりますので、三好町でも学生がボランティアで外国人に日本語を教える教室があるとよいと思います。

町長 三好町でも、講座でボランティアで外国人に日本語を教える教室があります。ぜひ刈谷市だけではなく三好町でも協力をお願いします。三好町にはブラジル人が多く町内の外国人全体の5割を占めているのではないかと思います。一番問題なのは宗教や文化の違いによる、ゴミ出しや野外でのパーティーなどの生活上のトラブルです。言葉が話せない、読めないのが大きな要因であるので、言葉を教える環境と情報提供が重要だと考えます。



いくたゆうや
生田雄哉さん(三好上)
名古屋大学工学部在学中

小・中学校時代に児童館で遊んだことは楽しい思い出

生田 三好に住んでいて良かったと思うのは、地域に児童館があったことです。大学の友人に聞くとほかの市町村には、このような施設はなかなか少ないとのことでした。児童館には広場も併設さ

れていて、学校が終わると特に約束してなくても児童館に行けば友達がいて、卓球やサッカーをして日が暮れるまで遊んで、とても楽しい小・中学校時代を過ごせました。こういう施設のあるのは三好町の良いところだと思います。

町長 町には25行政区があつて、児童館がある行政区は12行政区です。昔からある行政区には神社地などの共有財産があつて、児童館はそれら地区の共有地に建てられています。三好丘などの地区には、そのような土地がなく児童館などの施設が建築できないのが、三好の抱えるこれからの問題点。今後は各地区ごとに施設を整備するのではなく、きたよし地区、なかよし地区、みなよし地区の単位で整備するなど、地区によって不公平がないようにしていかなければならないと考えています。



おおたまりこ
太田真理子さん(東山)
南山大学経営学部在学中

これから文化的活動に力を入れていってほしい

太田(真) 三好町は文化的活動も盛んで、わたしは生け花を習っていて春と秋の文化展に作品を出展しています。こうした活動を通して新しい交流

ができています。祖母も俳句や歌をやっていて、高齢者にとっても、こうした活動が生きがいとなっているので、みよし市になっても文化的活動に力を入れていってほしいです。

町長 三好町には文化協会があつて、数多くの皆さんが会員になり、活発にさまざまな活動をしていただいています。文化活動を通じて横のつながりを深めることはとても大切です。皆さんには実社会に出てからも何か打ち込める趣味を持つてほしい。同じ趣味を持つ人との関わりをもつてつながりを入れていってほしいですし、何よりたくさんの方の友人を作ってください。



こんどう まい
近藤真衣さん(三好丘緑)
名古屋外国語大学
外国語学部在学中

さんさんバスを増やしてほしい

近藤 三好丘地区は、まちづくりが進んでいて、特に遊歩道の整備が進んでいて、生活の中心となっています。高齢化社会が進む中、今後は高齢者にとって住みやすい施設、つまり全ての年代の人が住みやすい施設が必要だと思います。

また、さんさんバスは現在でも高齢者にとって重要な交通手段になっていますが、本数を増やす

ことで今後より活発な行動ができるようになると思いますので、さらに充実を図ってほしいと思います。

町長 愛知県は、高齢者の交通事故が多い。昔からの道路には歩道が整備されていないので、少なくとも通学路に指定されている道路については歩道を優先的に整備するなど、交通弱者の視点に立った対応が必要だと思います。さんさんバスについては、わたしが町長に就任してから2台増やしてきました。さんさんバスは2路線で町内全域をカバーしていて、現在の路線だと偶数単位での増車が必要です。現在運行中のバスについては、7年で更新する必要がある、低床のバスはとも費用が掛かります。それでも高齢化や二酸化炭素排出量削減の対策のため、何とか増車とコースについて検討していきたい。



すずきたかひろ
鈴木貴大さん(三好丘旭)
名古屋工業大学工学部在学中

ごみのない美しいまちにしてほしい

鈴木 台風などの災害時に、道路の清掃や倒れた樹木の伐採など、一般の人がなかなかやりたがらないことを、町で行っているのを知り感動しまし

た。ただ、たまにゴミが落ちているのを見ると悲しい気持ちになるので、ゴミのないきれいなまちを目指してほしい。

町長 外国では、ごみのポイ捨てに罰金を課すなど規制をかけているところもあります。今後、みよしを広くPRするには、皆さんからいろいろなアイデアを出してほしい。予算の関係で、できることとできないことがあります。いろいろな意見をいただくとありがたいです。まちをきれいにするには、住んでいる人がごみをポイ捨てしないという当たり前のことが守れる人にならなければなりません。このことは、行政だけではできないこと。もし、ごみが落ちていたら拾うとか、ごみのポイ捨てをさせないPRを自分たちでするなど、そこに住んでいる人みんながそういう意識を持つことが大切だと思います。三好町の中でも新しい地区である三好丘地区が街びらきをして20年以上が経過。これからみよし市になるわけですが、旧来の地区、新しい地区というように区別するのはなく、みんながみよしのまちづくりをしていくという気持ちが大切だと思います。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

成人式実行委員の皆さん、
貴重なご意見をありがとうございました。